

# 観光振興並びに公共交通施策に関する 提 案 ・ 要 望 書



平成27年10月

南砺市議会

観光・公共交通等対策特別委員会



H27-059

観光振興並びに公共交通施策に関する提案・要望書 《正誤表》

お手数恐縮ですが、下記のとおり下線部分の訂正をお願いいたします。

記

○2ページ 1. タイトルの 全便城端線 → 全便城端駅  
(誤)

1. 新幹線「新高岡駅」停車列車との円滑な接続及びJR城端線増便の定着化と車両の更新、ICカード導入、駅施設のバリアフリー化等の推進、城端線高岡駅行の全便城端線始発化

(正)

1. 新幹線「新高岡駅」停車列車との円滑な接続及びJR城端線増便の定着化と車両の更新、ICカード導入、駅施設のバリアフリー化等の推進、城端線高岡駅行の全便城端駅始発化

○3ページ 6. 文中6行目の 外国語標記 → 外国語表記  
(誤)

併せて、外国人の誘客に努められ、インバウンド対策として、外国語標記の充実やW i F i環境の整備促進、免税店対策等を図られたい。

(正)

併せて、外国人の誘客に努められ、インバウンド対策として、外国語表記の充実やW i F i環境の整備促進、免税店対策等を図られたい。

以 上



南砺市長 田 中 幹 夫 様

観光振興並びに公共交通施策に関する提案・要望について

今期の観光・公共交通等対策特別委員会では、昨年11月25日に提出した「観光振興並びに公共交通施策に関する提言」への対応状況等について確認するとともに、3月14日の北陸新幹線開業後の観光入込み客数及び城端線等の乗車人数に関する説明等を受けて、2次交通・3次交通のあり方を含めた観光戦略や市民に身近な地域公共交通等について協議を重ねてきました。

また、城端駅ハブ化構想の進捗状況（城端駅交通・情報拠点化基本構想）に関する説明を受けるとともに、今後、公共交通の拠点として整備が計画されているJR城端駅及びJR福光駅周辺の現地調査も実施しました。

先進事例調査では、第3セクターの株式会社山形鉄道が運行する「フラワー長井線」において、新幹線からの2次交通整備を含めた利用者増加の方策に関する事例調査を、新潟県三条市の「燕三条地場産業振興センター」では、地場産業を活かした観光振興・インバウンド対策への取組みを視察したところであります。

以上の協議及び調査活動を踏まえ、次の9項目を本特別委員会の提案・要望事項として取りまとめましたので、喫緊の課題である人口減少対策や交流人口の拡大等、南砺幸せなまちづくり創生総合戦略における取組みに加えて、次期南砺市総合計画の施策等にも反映していただき、積極的に事業化に取り組まれるよう提案いたします。

平成27年10月27日

南砺市議会

観光・公共交通等対策特別委員会

委員長	城 岸 一 明
副委員長	齊 藤 光 一
委 員	榑 祐 人
委 員	長 井 久美子
委 員	岩 崎 修
委 員	古 軸 裕 一
委 員	竹 田 秀 人
委 員	石 川 弘

### 1. 新幹線「新高岡駅」停車列車との円滑な接続及びＪＲ城端線増便の定着化と車両の更新、ＩＣカード導入、駅施設のバリアフリー化等の推進、城端線高岡駅行の全便城端線始発化

H26-085-001 地方創生推進課 交通政策係

北陸新幹線開業に併せてＪＲ城端線には新駅「新高岡駅」が開設されたことから、ＪＲ西日本に対して、列車の増便（平成２７年３月からの１日４往復８便）の定着化と新幹線及びあいの風とやま鉄道との円滑な接続並びに車両の更新、交通ＩＣカードの導入、路盤・路床の改良など、利用者の快適性と利便性の向上と併せて、障害のある人や高齢者、車椅子・ベビーカーを利用する人など、誰もが利用しやすい駅施設のバリアフリー化を強く要望されたい。

また、城端線高岡駅行き列車はすべて城端駅始発となるよう強く要望されたい。

### 2. 城端駅のハブ化を中心とした主要駅周辺の整備と観光案内板の設置

城端、福光、福野の３駅の周辺整備はパークアンドライド整備等都市計画事業で進められようとしているが、北陸新幹線開業に伴いＪＲ城端線を利用する観光客も多くなると思われる。南砺市の誇るべき財産である世界遺産「五箇山合掌造り集落」へのアクセス拠点としても、終着駅である城端駅のハブ化を中心に主要駅周辺の整備を図られたい。

併せて、市外から訪れた観光客には南砺市全体のイメージがつかみにくいことから、市全域の観光案内板を主要駅前や道の駅、高速道路サービスエリア等に設置することを検討されたい。

H26-085-002 地方創生推進課 交通政策係

H26-085-003 交流観光かちづくり課 交流観光係

### 3. 金沢からの観光客誘致のための観光案内所開設と路線バスの定期便化

南砺市は旧加賀藩とのつながりが深く、金沢と共通した歴史、文化の土壌の上にストーリー性のある観光を展開することができる。その地域性を活かし、金沢を訪れた観光客を南砺市へ呼び込むために、金沢駅や市内に、南砺市の見どころ、食、特産品、歴史、文化等を紹介し、知名度を高め誘客につながる観光案内所の開設を検討されたい。

併せて、金沢と南砺を結ぶ路線として、金沢井波線バス運行の定期便化を図られたい。

H27-059-001 地方創生推進課 交通政策係

#### 4. 世界遺産バスの利便性向上と城端線利用の拡大に向けて

H27-059-002 地方創生推進課 交通政策係

世界遺産バスは導入して3年目を迎え、認知度の高まりと北陸新幹線開業効果で、利用者数も急速に増加している。しかし城端線との役割分担や連絡体系が明確でないため、城端線の利用拡大に十分反映されていないように思われる。まずは世界遺産バスの利用者実態調査を実施し、利用者ニーズや二次交通としての今後の方向性を確認し、それぞれの交通機関の果たす役割を明確にすることが必要である。それに基づいて利用者の満足度を一層高めるため、世界遺産バスの利便性向上と城端線利用拡大に向けて関係事業者等へ強く働きかけをされたい。

#### 5. なんバスの土日祝日運行と案内表示の充実

H26-085-007 地方創生推進課 交通政策係

なんバス（南砺市営バス）の土日祝日の運行について、城端井波線や井波福光線では休日運行の実証実験が実施されているが、十分に路線やダイヤを精査し、費用対効果も考慮しながら有効な形で市民の足の充足と同時に、観光客の移動手段としても利用されるよう、その実施を前向きに検討されたい。

併せて、高齢者や初めて乗車する観光客も含めた利用者の利便性を向上させるため、車内案内や停留所の案内表示（路線、乗り換え）の充実を図られたい。

#### 6. 広域観光への取り組み・世界遺産「五箇山合掌造り集落」の価値を高める 観光戦略

H27-059-003 交流観光まちづくり課 交流観光係

広域観光の取り組みとして、ミシュラングリーンガイド・ジャポンに最高峰の三つ星観光地として紹介された金沢（兼六園）、南砺（世界遺産「五箇山合掌造り集落」）、白川郷と高山を結ぶ「北陸飛騨三つ星街道」の更なる強化と昇龍道プロジェクト等への積極的参加、広域周遊ルート確立や共同商品開発等、広域で連携することにより、誘客強化策を図られたい。

併せて、外国人の誘客に努められ、インバウンド対策として、外国語標記の充実やW i F i環境の整備促進、免税店対策等を図られたい。

また、五箇山地域の自然や歴史、文化を学ぶ拠点施設として（仮称）五箇山世界遺産センターを、空き施設の活用などにより開設されるよう検討されたい。

## 7. 地域の産業を活かした新たな観光戦略

H27-059-004 交流観光まちづくり課 交流観光係

南砺市には、井波の木彫刻や福光の木製バット、柿山のほか、五箇山和紙、城端の絹織物など伝統産業や地場産業に根ざした観光資源に恵まれている。これらを活かした「産業観光」を推進することで、事業への経済的な波及効果だけでなく、観光客誘致による交流人口の増大で地域振興に繋げることも可能である。

「食」をテーマとしたコースや「ものづくり」の体験コースのほか、普段目にする事の出来ない工場見学など様々なコースを設定し、体験型観光の旅行商品として「産業観光」を検討されたい。

## 8. 宿泊施設の改修等に係る助成制度の拡充と駅周辺にいきおいの場の設置

H27-059-005 交流観光まちづくり課 施設管理係

宿泊施設に清潔感と安心感を求める観光客にとって、観光地としての質を向上するためには宿泊施設の風呂・トイレ等の水回り施設の改善や安全対策は、必須である。しかしながら、南砺市内の宿泊施設には整備が遅れているところもあり、「中小企業・小規模事業者振興基本条例」の施行により支援の道が開けたところであるが、支援内容のさらなる拡充を図られたい。

また、駅周辺に「いっぷく」できるようなカフェ等が少ないのが現状であり、開設について関係事業者への働き掛けが必要である。既存の事業者へも更なる支援を図り、駅周辺の街中を含めて周遊可能な市街地の創造に努められたい。

## 9. 体験学習旅行（修学旅行等）や東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致

H26-085-009 生涯学習スポーツ課 スポーツ係

H26-085-010 交流観光まちづくり課 交流観光係

体験や交流を取り入れたニューツーリズムが盛んになっている。南砺市の豊かな自然、多彩な歴史文化、四季の魅力を満喫できる観光商品を開発し、都市部の学校の体験型修学旅行を積極的に誘致されたい。

また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックは、国内外へ南砺市の知名度を向上させる絶好のチャンスである。ボート競技で各種大会開催や外国チーム・大学チームの合宿地として実績がある桂湖を日本代表、外国チームの事前合宿地とする誘致活動を更に推進されたい。

観光・公共交通等対策特別委員会における審議・調査等の経過

平成26年

12月19日 委員会

- ・委員会の運営について
- ・JR城端線について ほか

平成27年

1月7日 1月臨時会

- ・「城端線の城端駅始発便運行に関する決議」を議決し、西日本旅客鉄道株式会社金沢支社に送付

4月6日 委員会

- ・委員会調査事項について ほか

5月11日 委員会

- ・観光振興並びに公共交通施策に関する提言（平成26年11月25日提出）への対応について
- ・城端駅ハブ化構想の進捗状況（城端駅交通・情報拠点化基本構想）について
- ・北陸新幹線開業後の観光入込み客数及び城端線等の乗車人数について

7月8日 視察研修

～9日

- ・山形県長井市 山形鉄道株式会社  
「山形鉄道における利用拡大の取組み」
- ・新潟県三条市 燕三条地場産業振興センター  
「産業観光によるまちづくり、インバウンド対策」

7月22日 委員会

- ・提案・要望事項の取りまとめについて ほか

8月12日 委員会

- ・提案・要望事項（案）について
- ・現地調査の実施について
- ・砺波市議会特別委員会との合同研修について ほか

9月29日 現地調査

- ・城端駅 城端駅交通・情報拠点化構想について
  - ・福光駅 都市計画道路荒木線 福光駅東口駅前広場の整備について
- 委員会

- ・提案・要望事項（案）について ほか

10月25日 砺波市議会特別委員会との合同研修会

- ・視察 観光列車「ベル・モンターニュ・エ・メール」乗車
- ・講演会、意見交換会  
「北陸新幹線の開業効果を高める取組みについて」



世界文化遺産 五箇山合掌造り集落



平成27年3月14日 北陸新幹線

金沢・富山～長野間開業

「にほんの里百選」 散居村景観(閑乗寺公園から)

